

日本アビオニクス (6946) 21/3 上期会社 WEB 説明会電話取材メモ 新規 BUY

21/3 期を 5G 関連、コロナ対策寄与で増額修正し 13.1%増収、営利 8 億円 (9.6 倍) へ

株価円 (12/28) 2283 円 時価総額 64 億円 発行済株 2830 千株

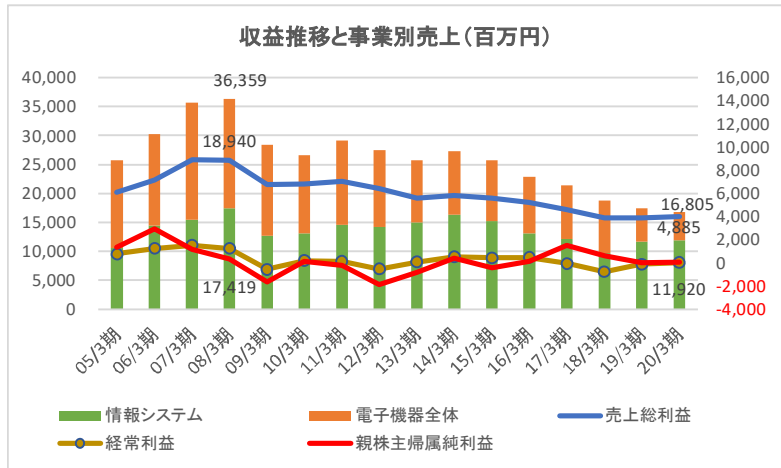
PER (21/3DO 予 32.2X) PBR (0.69X) 配当 (21/3 予) 0 円 配当利回り : -

要約

- NEC グループから離脱し高シェア製品中心に新たな事業展開で収益拡大目指す
- 21/3 上期は 18.6%増収、営利黒字転換、受注 16.8%増とコロナ対策、5G 向けで収益稼ぐ
- 21/3 期計画を増額修正し売上高 190 億円 (13.1%増)、営利 8 億円 (9.6 倍) 予想に
- 22/3 期は 5G、コロナ対策の拡大継続に加え、EV、車載関連も寄与し収益拡大
- 株価は上方修正の中でコロナ対策銘柄として年初来高値 3280 円 (PBR1 倍) 目標

NEC グループから離脱し高シェア製品中心に新たな事業展開で収益拡大目指す

同社は 1960 年に日本電気と米国ヒューズ社の合弁会社として設立、防衛・宇宙事業（情報システム事業）を基盤とし、その技術力を民需（電子機器事業）にも展開してきた。しかし複数の民需事業が足かせとなり収益が低迷、NEC からの資金支援も受けて段階的に撤退している中で、主力事業の防衛・宇宙事業において防衛庁が防衛調達品の海外メーカーへのシフトが起り、同事業も低迷した。このような状況で、2020 年 1 月 31 日

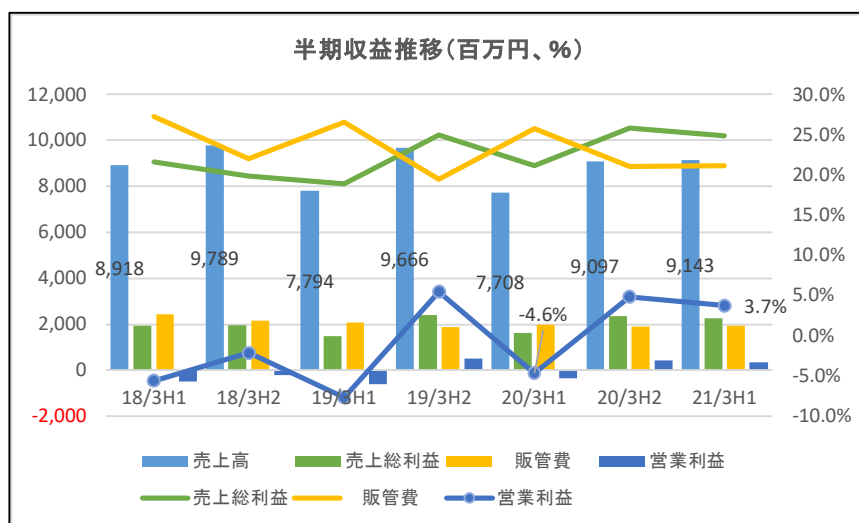


に日本産業パートナーズが TOB で NEC から株式を取得、NEC 傘下から離脱し、情報システム事業は NEC とのパートナーシップを維持し、NEC 以外での販路拡大、電子機器事業は赤外線サーモグラフィカメラや接合機器などの高シェア製品を軸に新市場の開拓で事業拡大を図ることとなった。前 20/3 期の売上高は 168 億円、売上構成は情報システムが 70%、電子機器が 30%となっている。

21/3 上期は 18.6%増収、営利黒字転換、受注 16.8%増とコロナ対策、5G 向けで収益稼ぐ

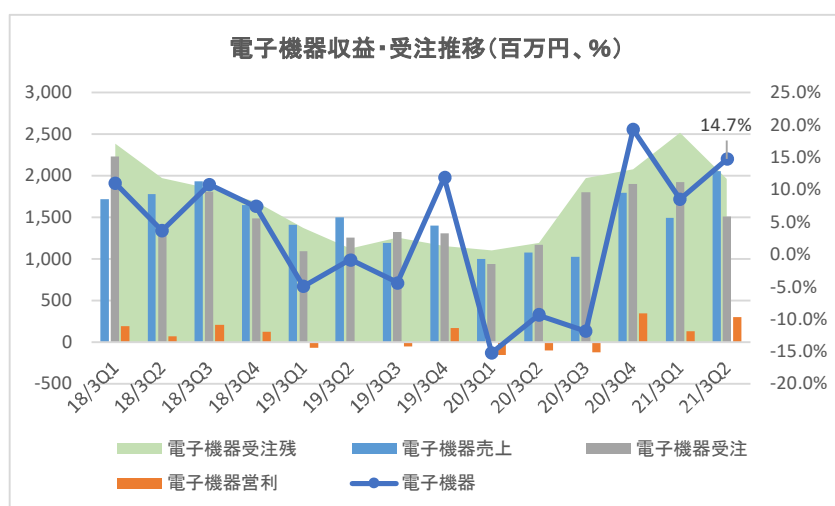
21/3 上期は売上高 91.43 億円 (18.6%増)、営利 3.42 億円 (6.98 億円改善、黒字転換)、経常利益 2.85 億円 (6.61 億円改善、黒字転換)、税引利益 3.23 億円 (7.20 億円改善、黒字

転換)、受注75.30億円(16.8%増)となった。ちなみにQ1は8.9%増収、営業損失0.4億円(3.11億円改善)に対し、Q2は26.3%増収、営利3.82億円(4.67億円改善、黒字転換)と、勢いが増している。



セグメント別では情報システムが売上高5.96億円(0.8%減)、営業損失0.87億円(0.15億円改善)、受注41.01億円(5.5%減)。防衛庁の国内調達低調で受注減少、但し利益面ではコスト・納期改善等で利益率改善を図り、減収ながら赤字縮小とした。電子機器は売上高35.47億円(71.4%増)、営利4.30億円

(6.83億円改善し黒字転換)、受注34.29億円(62.8%増)、受注残19.61億円(64.4%増)に。主力の接合機器が海外の5G基地局関連向けに好調に推移、赤外線機器が発熱者スクリーニング需



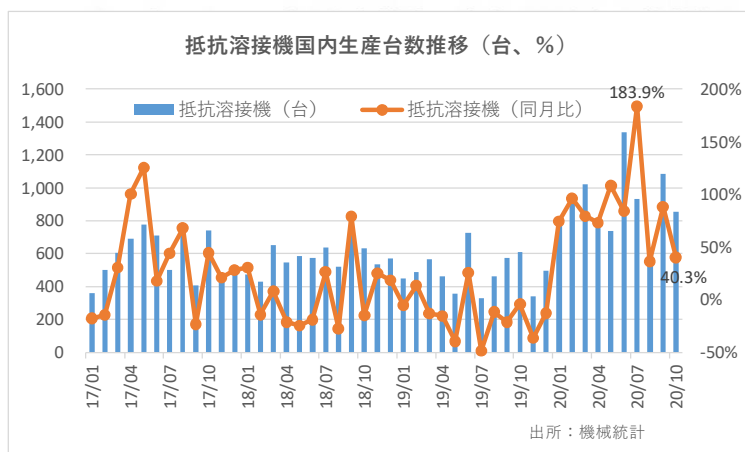
要の拡大で増加、電子機器全体で輸出が17.99億円(3.1倍)、国内も17.48億円(17.3%増)と内外とも増収となり、利益面ではコスト削減も進み、大幅な収益拡大となった。

21/3期計画を増額修正し売上高190億円(13.1%増)、営利8億円(9.6倍)予想に

上期の電子機器の好調を受け、期初計画を上方修正、売上高190億円(10億円増額、13.1%増)、営利8億円(4.5億円増額、9.6倍)、経常利益7億円(4.2億円増額、28倍)、但し税引利益は特別退職加算金等の費用を特別損失で見込み、2億円(据え置き、2.6倍)予想とした。なお部門別予想は非開示ながら、期初計画では情報システムを横ばいとしており、増収分は電子機器となるとの見方で概ね正しいとのこと。

現状、コロナ第3波の来襲で感染拡大加速懸念が高まる中で、下期も赤外線機器では発熱スクリーニング需要が継続、単品でのビジネスからソリューションビジネスへの拡大も

期待される。また接合機器も5G 関連が海外に加え、国内でも基地局投資の活発化から、順調な伸びが見込める。一方、防衛庁を中心とした情報システム部門は低調な動きが続くものの、防衛予算は増額方向で、会社計画並み売上を確保出来ると判断、営業利益は上期の発熱スクリー

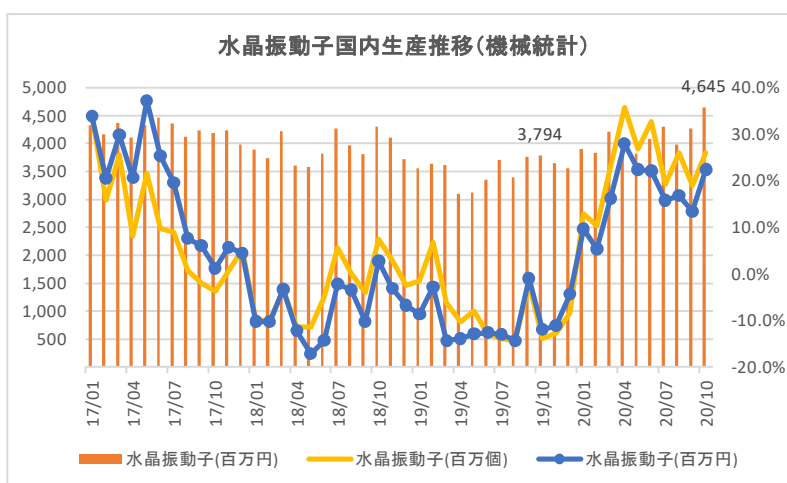


ニングの特需的な要素が収まり、電子機器の利益率が下落するとみられるものの、上期比で売上が維持され、コスト削減効果などで、会社予想を上回る利益が見込める。なお、税引利益は特別損失計上を見込んでおり、営利増額でも前向きな損失計上で会社予想並みに止めると判断した。

22/3 期は5G、コロナ対策の拡大継続に加え、EV、車載関連も寄与し収益拡大

22/3 期は5G 基地局投資が継続、さらに5G 端末向けでも水晶振動子の装着個数が増大、

同社が高いシェアを持つシーム溶接接合機の需要拡大が見込まれる。また5Gでは発熱量の拡大に対し放熱対策としてペーパーチャンバなどが必要となっており、日本電産などが本格拡大を目指すなどもあり、超音波金属接合機の需要拡大も見込まれる。加えてEV/HEV向けには軽量化に向けてアルミワイヤハーネス製造時の銅・アルミ異種接合向け、バッテリーパックの接合などの需要拡大も



見込める。さらに異種金属だけでなく、10月には炭素繊維強化熱可塑性樹脂(熱可塑性CFRP)とアルミニウム合金を締結部品や接着剤を使わずに、直接接合する異種材接合技術を開発。これまで金属と熱硬化性CFRPを接合するには、接着剤による接着接合やボルト等で締結する機械的な接合が主流で接合強度が弱い等の欠点があったが、これを克服でき小型情報機器や小型精密部品など多くの分野で熱可塑性CFRPと金属の精密接合採用が期待される。

CFRPとアルミニウム合金接合サンプル



医療では赤外線サーモグラフィの品揃えを強化、また従来の温度を観察するための製品から、温度を監視して問題解決する感染症対策ソリューションビジネスへの拡大を加速させる。8月にはNECと生体認証や映像分析などと組み合わせ、イベント会場での入場者数管理、サインージへの混雑度表示、管理者への通知などが可能となるソリューションを発表。

発熱者スクリーニング専用機として小型機やタブレット型、ドーム型などの品揃えも強化、ソリューションビジネス拡大が期待される。このほか、世界初のカメラヘッド着脱型サーモグラフィも投入、工場などの現場測定などでも需要が見込まれる。

全体として、情報システムは防衛予算の減少が避けられる中で、NEC向けに加え、富士通向け等にも納入が拡大、収益の確保が見込まれる中で、電子機器の事業拡大で22/3期も増収増益を確保、税引利益は特損一巡で正常化し、大幅増となるう。

測定者画面

- ・ 被験者に発熱チェックを促すガイダンスや、発熱チェック後の次の行動を促すメッセージを表示します。
- ・ 測定を促すメッセージや測定結果を表示するメッセージは、自由に変更することができます。

測定者画面 (静止モード)

測定者画面 (ウォークスルーモード)

管理者画面

- ・ リアルタイム画像と保存データ履歴のサムネイルを同時に表示します。
- ・ 管理者用モニタを準備することでマルチディスプレイの運用が可能です。発熱者を極力入れないように監視員がしっかりチェックしたいケースに有効です。
- ・ サムネイル画像は拡大することができ、事後の確認が容易です。
- ・ 測定日や温度条件で絞り込み検索が可能です。

管理者画面 (静止モード)



株価は上方修正の中でコロナ対策銘柄として年初来高値 3280 円 (PBR1 倍) 目標

株価は 21/3 期業績発表で増益予想となり 6/4 に年初来高値 3280 円を付けたが、その後は蚊帳の外の状況で、10/29 の増額修正発表でも税引利益が変わらず無反応で推移した。会

社予想 EPS70.82 円で PER31.8 倍は電機平均 PER36 倍に対し割安感はない。しかし特損を除けば EPS166 円水準であり、実質 PER13.6 倍は割安感がある。なお同社は第 1 種 (80 万株)、第 2 種 (150 万株) 優先株式について、7 月末に 57000 株を取得し消却を実施、今後 5 年をかけて消却する意向で、流通株の増加にはならない見通し。22/3 期は増収、営利増が見込まれ、特損一巡で税引利益は大幅増となり、EPS も 200 円程度が見込まれ、当面、年初来高値 3280 円を目指す動きとなろう。また 5G 関連、コロナ対策関連で収益拡大が見込めるだけに、関連銘柄との認識が高まれば、2017 年の 4000 円も視野に入ってくる。

日本アビオニクス(6946)										
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/3期	17,460	-6.7%	-70	赤小	-105	赤小	22	-96.4%	7.830	0.00
20/3Q1	3,397	-6.7%	-271	赤大	-282	赤大	-294	赤小	-104.31	0.00
20/3Q2	4,311	3.8%	-85	赤大	-94	赤大	-103	赤大	-35.7	0.00
20/3Q3	3,616	-13.9%	-212	赤大	-225	赤大	-238	赤小	-84.44	0.00
20/3Q4	5,481	0.2%	651	-2.5%	626	-8.7%	711	-36.7%	251.55	0.00
20/3H1	7,708	-1.1%	-356	赤小	-376	赤小	-397	赤小	-140.01	0.00
20/3H2	9,097	-5.9%	439	-16.7%	401	-23.0%	473	-42.7%	167.11	0.00
20/3期	16,805	-3.8%	83	-218.6%	25	-123.8%	76	245.5%	27.1	0.00
21/3Q1	3,699	8.9%	-40	赤小	-84	赤小	-174	赤小	-61.74	0.00
21/3Q2	5,444	26.3%	382	黒転	369	黒転	497	黒転	176.28	0.00
21/3H1	9,143	18.6%	342	-196.1%	285	-175.8%	323	-181.4%	114.54	0.00
21/3H2会予(10/29)	9,857	8.4%	458	4.3%	415	3.5%	-123	-126.0%	-43.72	0.00
21/3期期初会予	18,000	7.1%	350	321.7%	280	1020.0%	200	163.2%	70.82	0.00
21/3期修正会予(10/29)	19,000	13.1%	800	859.3%	700	2700.0%	200	163.2%	70.82	0.00
21/3期DO予	19,000	13.1%	900	984.3%	800	3100.0%	200	163.2%	70.82	0.00
22/3期DO予	20,200	6.3%	950	5.6%	850	6.3%	570	185.0%	201.84	5.00
23/3期DO予	22,000	8.9%	1,350	42.1%	1,250	47.1%	840	47.4%	297.44	5.00

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期期初会予	21/3期修正会予(10/19)	21/3期DO予	22/3期DO予	23/3期DO予
売上高	21,442	18,707	17,460	16,805	18,000	19,000	19,000	20,200	22,000
営業利益	20	-709	-70	83	350	800	900	950	1,350
経常利益	-60	-764	-105	25	280	700	800	850	1,250
親株主帰属純利益	1,510	606	22	76	200	200	200	570	840
製品別売上情報	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期期初会予	21/3期修正会予(10/19)	21/3期DO予	22/3期DO予	23/3期DO予
情報システム	12,149	9,674	11,641	11,920	11,900	11,900	11,900	12,300	12,500
電子機器	6,630	7,075	5,499	4,884	6,100	7,100	7,100	7,900	9,500
プリント配線板	2,662	1,957	329	0	0	0	0	0	0
売上合計	21,442	18,707	17,460	16,805	18,000	19,000	19,000	20,200	22,000
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期期初会予	21/3期修正会予(10/19)	21/3期DO予	22/3期DO予	23/3期DO予
情報システム	45	-774	20	113	110	110	110	120	130
電子機器	506	582	30	-29	240	690	790	830	1,220
プリント配線板	-532	-516	-122	0	0	0	0	0	0
営業利益	20	-709	-70	83	350	800	900	950	1,350
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期期初会予	21/3期修正会予(10/19)	21/3期DO予	22/3期DO予	23/3期DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	1.9%	4.2%	4.7%	4.7%	6.1%
経常利益	-0.3%	-4.1%	-0.6%	0.1%	1.6%	3.7%	4.2%	4.2%	5.7%
親株主帰属純利益	7.0%	3.2%	0.1%	0.5%	1.1%	1.1%	1.1%	2.8%	3.8%
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期期初会予	21/3期修正会予(10/19)	21/3期DO予	22/3期DO予	23/3期DO予
情報システム	0.4%	-8.0%	0.2%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.0%
電子機器	7.6%	8.2%	0.5%	-0.6%	3.9%	9.7%	11.1%	10.5%	12.8%
プリント配線板	-20.0%	-26.4%	-37.1%	0	0	0	0	0	0
営業利益	0.1%	-3.8%	-0.4%	0.5%	1.9%	4.2%	4.7%	4.7%	6.1%

